コラム Column きのうきょう

アンプティサッカーの魅力発信中

篠みつ子（商学部2年）

中央大学商学部「ビジネス・チャレンジ講座」（担当・渡辺岳夫教授）の受講生です。同講座は障がい者サッカーのアンプティサッカーを支援。11月11～12日に行われる日本選手権（川崎市）の運営マネジメントに商学部の学生18人が携わっています。

高い競技レベル

アンプティサッカーとは、主に上肢・下肢に切断障がいのある方がプレーします。日常生活やリハビリ・医療目的で使用している器具「クラッチ」で競技を行うため、足に障がいがある人々にとっては、最も気軽に楽しめるスポーツとして、海外で急速に普及し、認知度も高まっています。

日本ではあまり知られていないようで、私たちがアンプティサッカーの魅力を発信し、日本選手権では観客動員4,000人を目指しています。これまでは1,200人ほどでした。広報・イベント企画・スポンサー営業・飲食店誘致など各班に分かれて活動中です。

講座の初回授業では、日本アンプティサッカー協会最高顧問・セルジオ越後氏を招いての特別講演。その後、中大サッカー場で「体験会」にチャレンジしました。

日本代表選手からクラッチと呼ばれる杖の使い方から、走り方、パスやシュートまでの実技指導を受け、最後はミニゲーム。私たちにとってアンプティサッカーの魅力や難しさを体感する大変貴重な機会となりました。

渡辺教授と受講生全員で、春の全国大会の第4回レオピン杯（大阪市・5月13～14日）を見学。

受講生の名塚さらさんは「アンプティサッカーは一度転んでしまうと立ち上がるのに時間がかかってしまいます。しかし、何度転んでもすぐに立ち上がる選手の姿に胸が熱くなりました」と感激したようで、「選手のレベルが高く、スポーツとして見応えがあります」とアピールしました。

日本選手権の試合会場には、私たちもいます。ぜひ、富士通スタジアム川崎でお会いしましょう。

迫力あるプレーに魅せられる
（写真提供：日本アンプティサッカー協会）

日本アンプティサッカー選手権大会第7回・2017年

11月11日（土）	12：00	閉会式
	12：30	試合開始
	20：00	試合終了（予定）
12日（日）	9：30	試合開始
	14：30	決勝戦
	16：00	閉会式（予定）

詳細は下記QRコードからアクセスを！

学生たちが作ったサイトです。

会場・富士通スタジアム川崎（Jリーグ川崎フロンターレ運営・旧川崎球場）
特産品販売・期間中は全国から出場する9チームの地域特産品の売店が出店予定。

講座受講生

▽4年	江藤　かな 新村　望 守田　勧	玉置祐太郎 沼崎　拓弥
▽3年	名塚　さら 八重倉　陸	渕上　裕衣 角田　望
▽2年	佐藤　伶美 直井　貴裕 牧本　天増 山　周平 篠　みつ子	竹中　雄大 原島　崇甫 増倉奈保子 槙野　圭悟